

2026 年 8 月 31 日

報道関係者各位

株式会社 FRONTEO

**FRONTEO CSO 豊柴 博義、
上位 50 製薬企業すべてが集う米国 AI 創薬サミット
「AI Drug Discovery & Development Summit 2026」に登壇**
方程式駆動型 AI「KIBIT」による非連続的発見と、すい臓がん研究での検証内容を発表

株式会社 FRONTEO（本社：東京都港区、代表取締役社長：守本 正宏、以下「FRONTEO」）は、米国でのライフサイエンス AI 事業の展開を加速させるため、2026 年 10 月 27 日（火）～29 日（木）に米国マサチューセッツ州ボストンで開催される AI 創薬の国際カンファレンス「AI Drug Discovery & Development Summit 2026（以下「AIDDD Summit」）」に出展し、講演を行います。



【オフィシャルサイト】

<https://www.aidrivendrugdevelopment.com/>

AIDDD Summit は、AI 創薬に特化した世界有数のイベントで、2026 年で 5 回目の開催となります。2026 年は AI を活用した創薬・医薬品開発に携わる企業・アカデミアなどから 1,000 人以上の業界関係者、上位 50 企業すべてを含む世界の大手製薬企業などが参加します。創薬生物学、創薬化学、臨床試験など 6 つのステージで 200 人の登壇者が、創薬標的分子探索から臨床開発まで、医薬品研究開発の各段階における AI 活用について、最新の研究成果や実践事例を共有する予定です。

FRONTEO は、AI 創薬支援サービス「Drug Discovery AI Factory（以下「DDAIF」）」^{*1}のブ

ー展示を行うとともに、取締役／CSO（Chief Science Officer）の豊柴 博義が「Discovery Biology Stage」に登壇します。

講演では、「Can AI Discover Biology That Has Never Been Reported?（邦題：AI は、これまで報告されたことのない生物学的知見を発見できるか?）」と題し、既存知識の統合や関連付けを中心とする従来のアプローチとは異なる、FRONTEO 自社開発の方程式駆動型 AI「KIBIT（キビット）」^{*2}を活用して論文未報告の生物学的関係性を発見する「非連続的発見」のアプローチを紹介します。

また、DDAIF を活用してすい臓がんの新規標的分子候補を短期間で抽出し、その後の in vitro 試験で細胞増殖抑制効果を確認した事例^{*3}について解説します。

このほか、標的分子探索、適応症探索、ドラッグリポジショニング、バイオマーカー探索、疾患ネットワーク上で遺伝子の影響をシミュレーションし、疾患への効果を予測する手法（Virtual Experiments）など、創薬研究における KIBIT の活用可能性を提示します。

■創薬を巡る課題と FRONTEO のアプローチ

創薬研究では、疾患の複雑化や研究の進展に伴い、新規性の高い創薬標的分子を見いだす難易度が高まっています。膨大な論文情報や研究データが蓄積され続ける一方、研究者がそのすべてを把握し、既存の知見の中から新たな創薬につながる関係性を発見することには限界があります。近年、創薬研究における AI 活用が急速に進んでいますが、ナレッジグラフや従来型の文献マイニングをはじめとする多くのアプローチは、既知の情報を統合・整理し、既存の関係性を効率的に探索することを得意としています。一方、ファースト・イン・クラス^{*4}の医薬品創出につながる新たな創薬標的分子の発見には、疾患と標的分子のこれまで明示的に報告されていない関係性を見だし、その作用メカニズムについて仮説を構築することが重要です。

FRONTEO の DDAIF は、独自の自然言語処理技術と解析手法を用いて膨大な論文情報を解析し、非連続的に未報告の関係性を発見することで、革新的医薬品の創出を支援します。

FRONTEO は、AIDDD Summit への出展・講演を通じて、世界の製薬企業や研究機関に DDAIF の独自技術とその革新性、研究成果を発信し、グローバルでの事業展開を加速させます。また、製薬企業・バイオベンチャー、アカデミアとの協業を通じて、革新的医薬品の研究開発を支援し、アンメット・メディカル・ニーズの解消と創薬力の強化に貢献してまいります。

【FRONTEO 講演概要】

ステージ：Discovery Biology Stage

日時：2026 年 10 月 28 日（水）14:45～15:15（EDT：米国東部時間）

登壇者：豊柴 博義（取締役／CSO）

講演名：Can AI Discover Biology That Has Never Been Reported?

（邦題：AI は、これまで報告されたことのない生物学的知見を発見できるか？）

【AI Drug Discovery & Development Summit 2026 概要】

日時：2026 年 10 月 27 日（火）～29 日（木）（EDT：米国東部時間）

会場：ボストン・マリオット・コブレイ・プレイス（米国マサチューセッツ州）

主催：Kisaco Research

オフィシャルサイト：<https://www.aidrivendrugdevelopment.com/>

事前来場登録：<https://www.aidrivendrugdevelopment.com/register>

- * 1 DDAIF：AI と創薬に精通した FRONTEO の創薬エキスパートが、自社開発の AI「KIBIT（キビット）」の自然言語処理技術と独自の解析手法を駆使し、標的分子・適応症探索やその裏付けとなる仮説を提供する AI 創薬支援サービス
- * 2 方程式駆動型 AI「KIBIT」：FRONTEO が独自開発した人工知能。方程式を用いることで非連続な発見、因果関係の把握、高い分析精度と再現性を実現。学習プロセスの軽量化によりパソコン 1 台で稼働。日本、欧州、米国、韓国で特許取得済み
- * 3 2026 年 5 月 13 日付プレスリリース：米国オクラホマ大学、FRONTEO が AI 創薬支援サービス「Drug Discovery AI Factory」で発見したすい臓がん新規標的分子候補で、細胞増殖抑制効果を確認、https://www.fronteo.com/news/pr/20260513_02
- * 4 ファースト・イン・クラス：そのカテゴリーの医薬品の中で最初に認可された新薬

■FRONTEO Drug Discovery AI Factory（DDAIF）について

【ご参考：製薬企業およびアカデミアとの取り組み】

URL：<https://www.fronteo.com/news/ddaif-list>



「FRONTEO Drug Discovery AI Factory（DDAIF）」は、自然言語処理に特化した方程式駆動型 AI「KIBIT（キビット）」（日本・欧州・米国・韓国特許取得済*）と、FRONTEO の創薬研究者および AI エンジニアの知見を融合した AI 創薬支援サービスです。疾患関連遺伝子ネットワーク

の解析や、標的分子候補に関する仮説の構築を通じ、医薬品開発における研究者の意思決定を強力にサポートします。本サービスはすでに複数の大手製薬企業で導入され実績を重ねています。

*Drug Discovery AI Factory に使われている技術は、FRONTEO が日本および欧州、米国、韓国で計 21 件の特許権を取得しています。

URL：<https://lifescience.fronteo.com/products/drug-discovery-ai-factory/>

■株式会社 FRONTEO について URL : <https://www.fronteo.com/>

FRONTEO は、自社開発の方程式駆動型 AI「KIBIT (キビット)」の提供を通じて、日夜、社会課題と向き合う各分野の専門家の判断を支援し、イノベーションの起点を創造しています。当社独自の自然言語処理技術（日本・欧州・米国・韓国特許取得済）は、汎用型 AI とは異なり、教師データの量およびコンピューティングパワーに依存することなく、高速かつ高精度での解析を可能にします。加えて、解析した情報をマップ化（構造を可視化）する特許技術を活用することで、「KIBIT」が専門家のインサイトにダイレクトに働きかけることができ、近年、「KIBIT」の技術が創薬の仮説生成や標的分子探索にも活かされています。



「KIBIT」の独自技術およびアプローチを通じて、「集合知に埋もれたリスクとチャンスを見逃さないソリューションを提供し、情報社会のフェアネスを実現する」理念の実現に向けて、[ライフサイエンス AI](#)、リスクマネジメント（[経済安全保障分野](#)、[ビジネスインテリジェンス・コンプライアンス支援分野](#)、[ビジネスインテリジェンス・プロフェッショナル支援分野](#)、[リーガルテック AI 分野](#)）、DX（[株式会社アルネッツ](#)）の各事業で社会実装を推進しています。

2003 年 8 月創業、2007 年 6 月 26 日東証マザーズ（現：東証グロース）上場。日本、米国で事業を展開。資本金 915,057 千円（2026 年 6 月 30 日時点）。

※FRONTEO、KIBIT、Drug Discovery AI FactoryはFRONTEOの日本および欧州、米国、韓国における商標または登録商標です。

＜報道関係者のお問い合わせ先＞

株式会社 FRONTEO 広報担当

Email : pr_contact@fronteo.com 電話 : 080-3449-6844

＜ライフサイエンス AI 事業に関するお問い合わせ先＞

株式会社 FRONTEO ライフサイエンス AI 事業本部

<https://www.fronteo.com/ja/contact/business>